

<平成28年3月期 第2四半期決算参考資料>(連結)

	前第2四半期累計実績 平成27年3月期 (A)	当第2四半期累計実績 平成28年3月期 (B) <small>平成27年4月予想</small>	通 期 予 想 平成28年3月期 (C)	前 回 (平成27年4月) 予想 平成28年3月期 (D)	前 期 実 績 平成27年3月期 (E)
売 上 高	10,351 億円	10,698 億円 <small>10,200</small>	22,800 億円	22,800 億円	21,807 億円
営 業 利 益	627 億円	584 億円 <small>500</small>	1,250 億円	1,250 億円	1,359 億円
<利益率>	< 6.1% >	< 5.5% >	< 5.5% >	< 5.5% >	< 6.2% >
		(増益要因) 資材費等コスト低減 +62億円 為替 +15億円 (減益要因) 販売費用 ▲23億円 台数・車種構成等 ▲7億円 その他 ▲90億円 対前年 変動計 ▲43億円	(増益要因) 台数・車種構成等 +200億円 資材費等コスト低減 +200億円 (減益要因) 為替 ▲220億円 販売費用 ▲40億円 その他 ▲249億円 対前年 変動計 ▲109億円	(増益要因) 台数・車種構成等 +290億円 資材費等コスト低減 +200億円 (減益要因) 為替 ▲410億円 販売費用 ▲40億円 その他 ▲149億円 対前年 変動計 ▲109億円	
経 常 利 益	736 億円	585 億円 <small>520</small>	1,300 億円	1,300 億円	1,516 億円
<利益率>	< 7.1% >	< 5.5% >	< 5.7% >	< 5.7% >	< 7.0% >
当 期 純 利 益 ※	609 億円	521 億円 <small>410</small>	1,000 億円	1,000 億円	1,182 億円
<利益率>	< 5.9% >	< 4.9% >	< 4.4% >	< 4.4% >	< 5.4% >
為 替 (売上レート)	103 円/US\$ 139 円/ユーロ	122 円/US\$ 135 円/ユーロ	119 円/US\$程度 133 円/ユーロ程度 (下期: 117円/US\$) (下期: 131円/ユーロ)	118 円/US\$ 128 円/ユーロ (第2四半期以降: 117円/US\$) (第2四半期以降: 127円/ユーロ)	109 円/US\$ 139 円/ユーロ
設 備 投 資 (計上ベース)	228 億円	354 億円	1,050 億円	1,050 億円	680 億円
減価償却費	252 億円	258 億円	600 億円	600 億円	533 億円
研究開発費	344 億円	385 億円	820 億円	820 億円	746 億円
有利子負債残高	1,923 億円	325 億円			1,445 億円
総 資 産	15,363 億円	14,050 億円			15,828 億円
売 上 台 数	626 千台	603 千台	1,251 千台	1,300 千台	1,296 千台
国 内	141 千台	102 千台	241 千台	244 千台	286 千台
海 外	485 千台	501 千台	1,010 千台	1,056 千台	1,010 千台
生 産 台 数 (自工会ベース)	624 千台	568 千台			1,275 千台
業 績 評 価		増収減益			

※親会社株主に帰属する当期純利益

2015年度第2四半期決算及び通期業績見通しを発表

三菱自動車は本日、2015年度(2016年3月期)第2四半期決算及び2015年度通期の業績見通しを発表しました。

1. 業績概況

2015年度第2四半期累計期間(2015年4月1日～9月30日)の売上高は、前年同期比347億円(3%)増の1兆698億円となりました。

営業利益は、コスト低減努力などのプラス影響がありましたが、研究開発費や市場措置費用の増加などにより、前年同期比43億円(7%)減の584億円となりました。

経常利益は、前年同期比151億円(20%)減の585億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比88億円(14%)減の521億円となりました。

2. 販売台数

2015年度第2四半期累計期間の販売台数は、前年同期並みの521千台となりました。

日本では、新モデルに切り替えた『アウトランダーPHEV』や『アウトランダー』が牽引し、登録車では前年同期を上回ったものの、市場環境が厳しい軽自動車が増減し、前年同期比11千台(19%)減の46千台となりました。

北米は、『アウトランダー』、『ミラージュ』を中心に販売が好調に推移したことなどにより、地域全体で前年同期比12千台(22%)増の69千台となりました。

欧州は、経済情勢が大幅に悪化したロシアでの販売が落ち込みましたが、ドイツやイギリスを中心に西欧で販売を伸ばしたことにより、地域全体では前年同期並みの104千台となりました。

アジアは、タイ経済の停滞や中国における市場成長スピードの減速などにより、アジア全体で前年同期比15千台(9%)減の152千台となりました。

その他では、中東・アフリカ、豪州で販売を伸ばし、その他地域全体で前年同期比14千台(11%)増の150千台となりました。

3. 2015年度業績見通し

本第2四半期累計期間の実績、及び、直近の経済状況や市場動向等を踏まえ、2015年度通期(2015年4月1日～2016年3月31日)の販売台数見通しを以下のとおり修正しておりますが、売上高および利益予想については変更ありません。

- 販売台数：1,053千台(対本年4月24日公表計画値47千台減)
- 売上高：2兆2,800億円(同±0)
- 営業利益：1,250億円(同±0)
- 経常利益：1,300億円(同±0)
- 当期純利益^(*)：1,000億円(同±0)

(*)親会社株主に帰属する当期純利益

以上

【お問い合わせ先】

広報部 メディアリレーショングループ担当：山西、稲田、^{あきやま}榎山
代表 03-6852-4274・4276

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的风险や不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。



2015年度 第2四半期 決算説明会

三菱自動車工業株式会社

2015年10月27日

2015年度 第2四半期 実績



新型『パジェロスポーツ』

前年同期に対し増収・減益 上期計画を達成

(単位：億円)

	FY14 2Q (' 14/4-' 14/9)	FY15 2Q (' 15/4-' 15/9)	増減		期初計画 (4/24公表)	増減	
	実績	実績	差異	率		差異	率
売上高	10,351	10,698	+347	+3%	10,200	+498	+5%
営業利益 (利益率)	627 (6.1%)	584 (5.5%)	-43	-7%	500 (4.9%)	+84	+17%
経常利益 (利益率)	736 (7.1%)	585 (5.5%)	-151	-20%	520 (5.1%)	+65	+13%
当期利益 [※] (利益率)	609 (5.9%)	521 (4.9%)	-88	-14%	410 (4.0%)	+111	+27%

※親会社株主に帰属する当期純利益

2015年度 第2四半期 小売台数実績 【6ヶ月累計、前年同期対比】

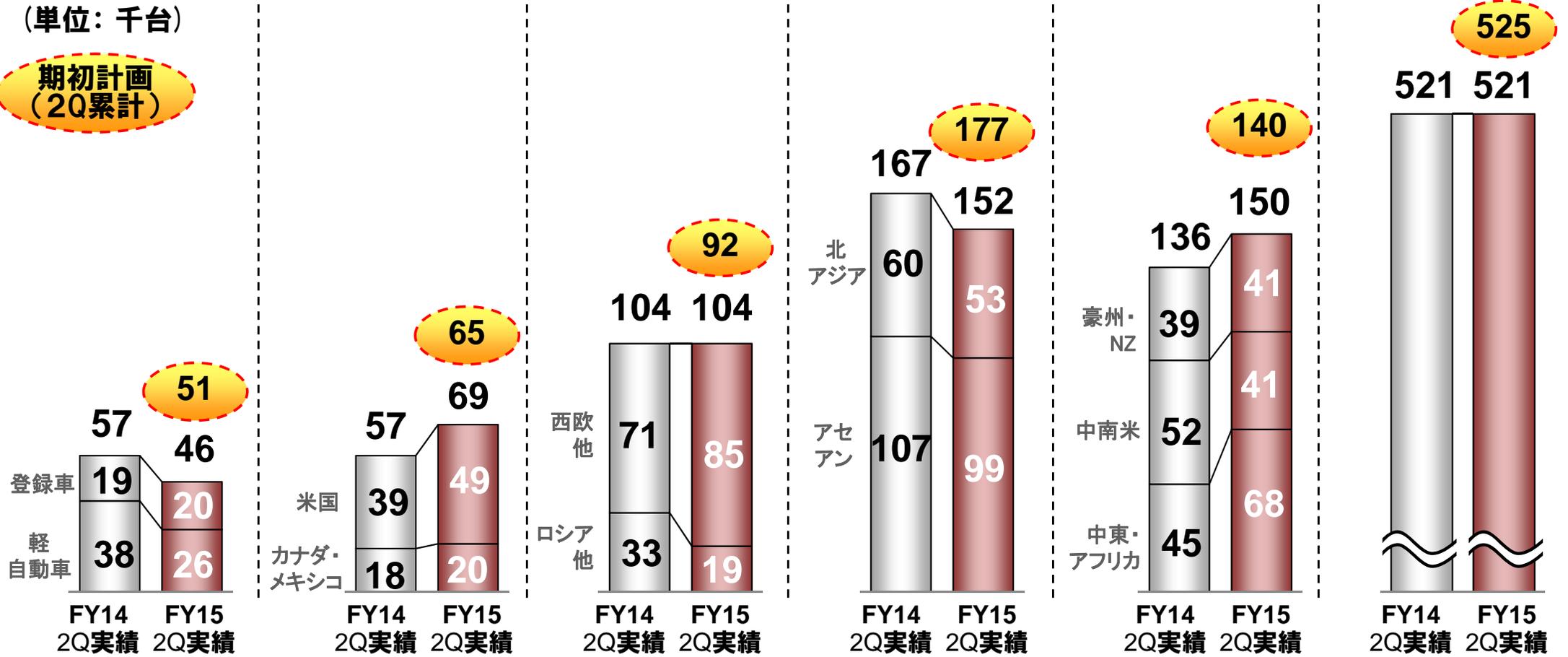
日本、アジアでの減少を北米、中東・アフリカなどの増加で補い前年同期並みで推移

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
----	----	----	-----	-----	----

《前年同期実績対比増減》					
- 11 (- 19%)	+ 12 (+ 22%)	± 0 (± 0%)	- 15 (- 9%)	+ 14 (+ 11%)	± 0 (± 0%)

(単位: 千台)

期初計画
(2Q累計)



※注) 15年度第2四半期小売台数実績は速報値。

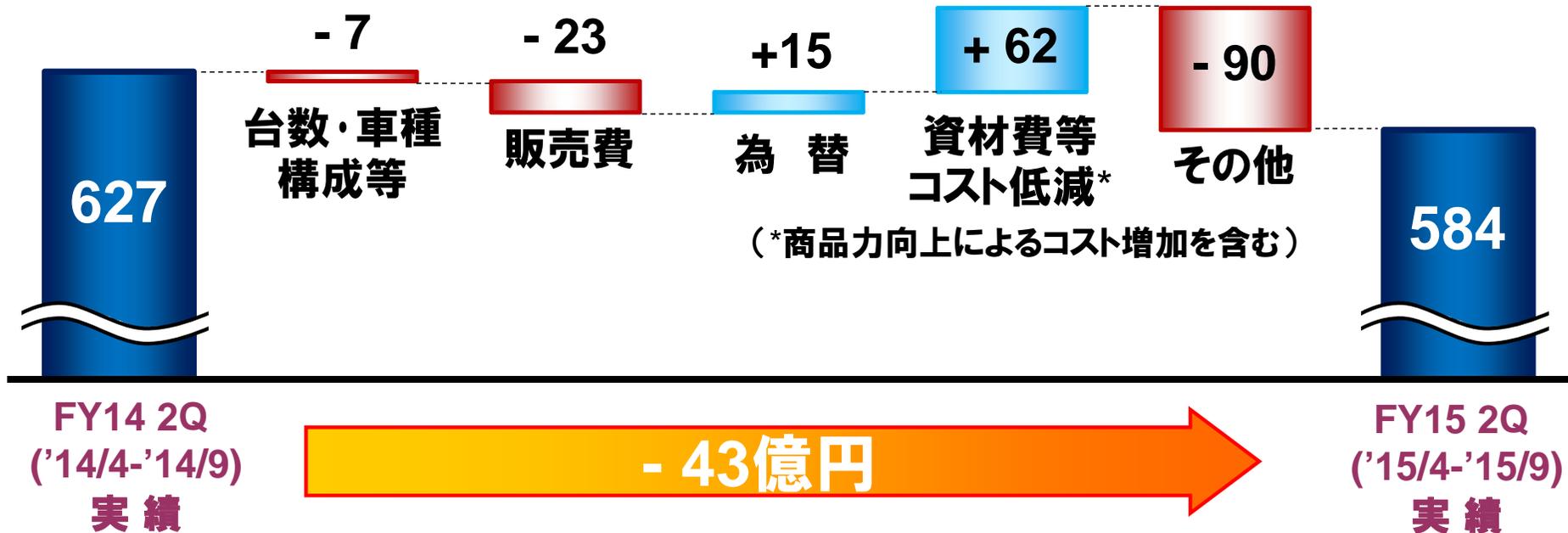
市場措置費用の増加等により減益

(単位：億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	- 21
北米	+ 63
欧州	- 6
アジア	- 61
その他	+ 18

主要通貨別内訳			
	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY14	FY15	
米ドル	103	122	+ 184
ユーロ	139	135	- 27
豪ドル	96	92	- 26
タイバーツ	3.19	3.58	- 53
英ポンド	172	189	+ 34
ロシアルーブル	2.91	2.15	- 82

その他の主な内訳	
研究開発費	- 41
市場措置費用	- 68
輸送費 他	+19



通期業績見通し



『eKカスタム』

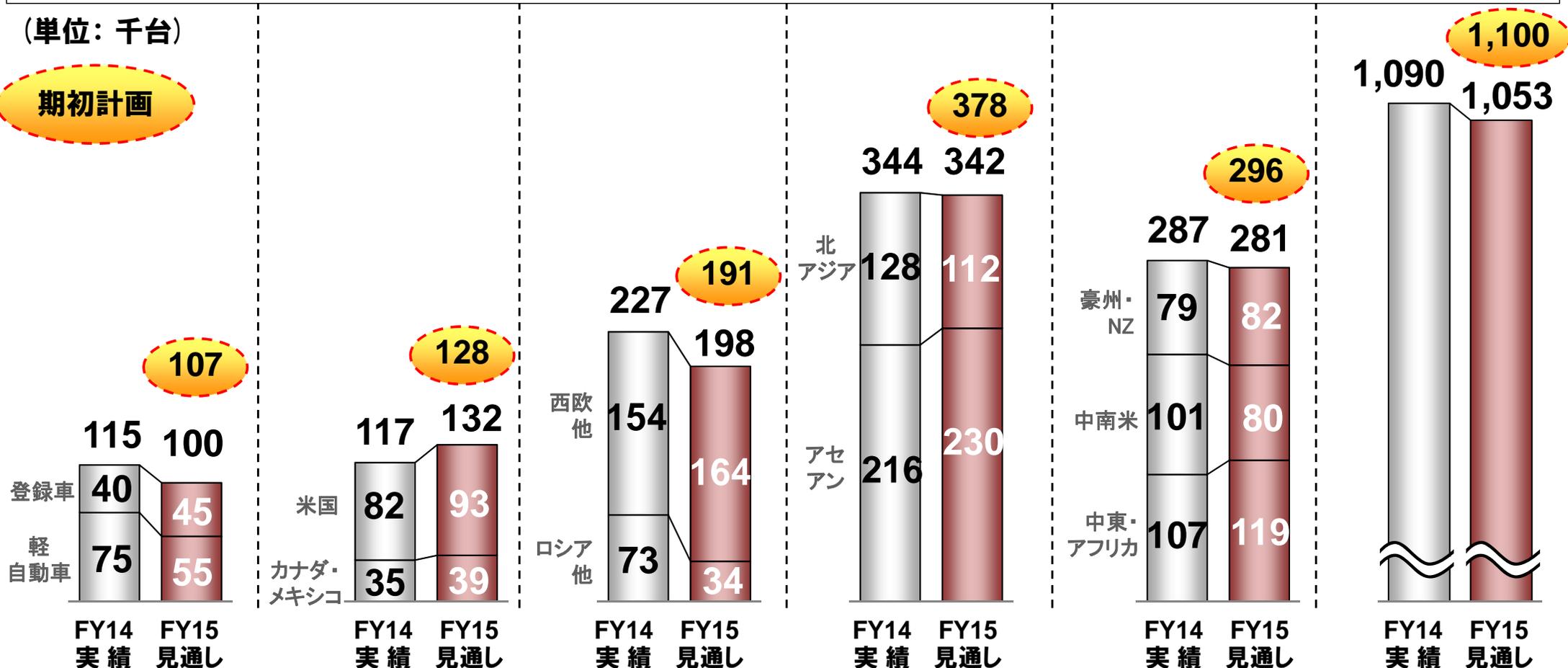
2015年度 小売台数見通し【前年度対比】

米国、西欧で伸長するも、全体では微減

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
《前年度実績対比増減》					
- 15 (- 13%)	+ 15 (+ 13%)	- 29 (- 16%)	- 2 (- 1%)	- 6 (- 2%)	- 37 (- 3%)

(単位: 千台)

期初計画



売上・利益ともに期初公表計画から変更なし

(単位：億円)

	FY14 ('14/4-'15/3)	FY15 ('15/4-'16/3)	増減		期初計画 (4/24公表)
	実績	見通し	差異	率	
売上高	21,807	22,800	+993	+5%	22,800
営業利益 (利益率)	1,359 (6.2%)	1,250 (5.5%)	-109	-8%	1,250 (5.5%)
経常利益 (利益率)	1,516 (7.0%)	1,300 (5.7%)	-216	-14%	1,300 (5.7%)
当期利益 [※] (利益率)	1,182 (5.4%)	1,000 (4.4%)	-182	-15%	1,000 (4.4%)

増減内訳

台数・車種構成等	+ 200
販売費用	- 40
為替	- 220
資材費等 コスト低減	+ 200
開発費	- 74
間接員労務費	- 55
市場措置 他	- 120

※親会社株主に帰属する当期純利益

上期の振り返りと下期以降の取り組みについて



第44回東京モーターショー2015出品車『Mitsubishi eX Concept』

- ◆ 当社の主要市場である新興国の経済が低迷する中、コスト削減努力や為替の好転もあり、上期営業利益は期初計画を上ぶれて着地
- ◆ 前年同期比で1Q(4～6月)は大幅減益であったが、2Q(7～9月)は増益に転ずる
 - ✓ 日本、北米、欧州、豪州・NZの台数車種構成が改善
 - ✓ 新型『アウトランダー』『アウトランダーPHEV』が貢献
- ◆ 米国工場の生産終了を決定。生産体制の再構築を進める
- ◆ タイでの新型『トライトン』の販売が伸び悩む
- ◆ 日本における当社軽自動車販売の進捗の遅れ

日本

◆ 昨年度に引き続き、通期での黒字を目指す

- 新型『アウトランダーPHEV』の刷新されたデザイン、更に進化した走行性能 及び 車からの給電機能を訴求
- 新型『アウトランダー』の販売増加
- ダイナミックシールドを採用した『eKカスタム』の新年式車を投入



北米

◆ 昨年度に黒字転換。今年度は更なる利益拡大を図る

- 8月に本格販売を開始した新型『アウトランダー』は市場からの評価が高く、確実に小売販売に結びつける

西欧

◆ 環境対応車の需要拡大に的確に対応していく

- 『アウトランダーPHEV』の環境性能に加え、SUVならではの実用性、4WDによる走行安定性、大幅なデザイン刷新など商品力の強化を訴求

タイ

◆ 市況は依然低迷。商品の競争力アップ及び販売網の強化を図る

- 新型『パジェロスポーツ』はデザイン、装備仕様が高評価で、発表後2ヶ月間で1万台を超える事前予約
- 販売店の更なるサービス向上を図る



インドネシア

◆ 将来の潜在力は高い。アセアンでの3極生産体制に向けて、新工場への投資を計画通り進める

- 8月に発売した新型『トライトン』の販売増加



建設中のインドネシア新工場

フィリピン

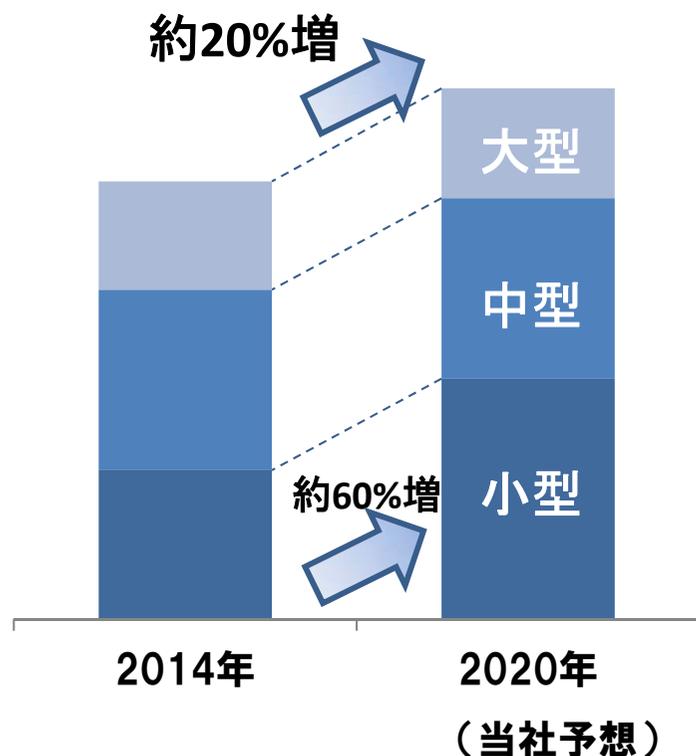
◆ タイ、インドネシアと並ぶアセアンの重要国として更なる強化を図る

- 主力車種である『パジェロスポーツ』の新型車を第4四半期に投入

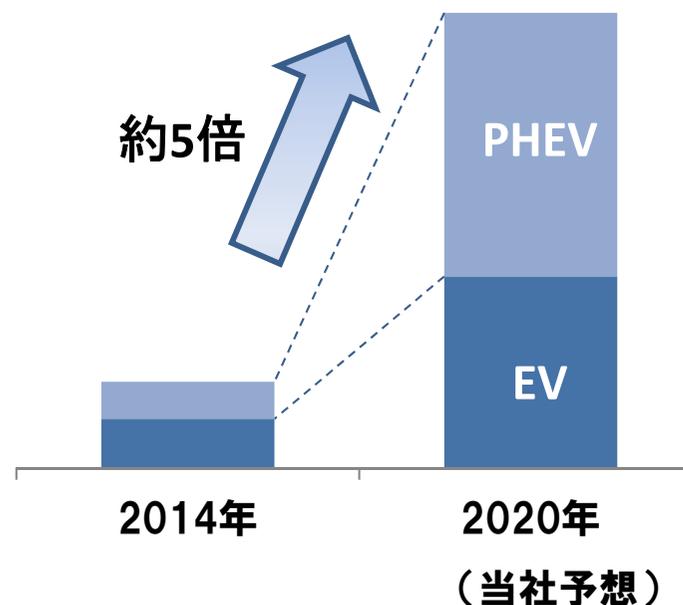
市場の見通し

- ◆ 全世界ではSUVセグメントが最も高い成長率
- ◆ クラス別では中型と小型の市場が大きく、小型で最も高い成長率
- ◆ 電動車両(EV+PHEV)市場は20年には14年度対比で約5倍に拡大

SUVクラス別需要予測



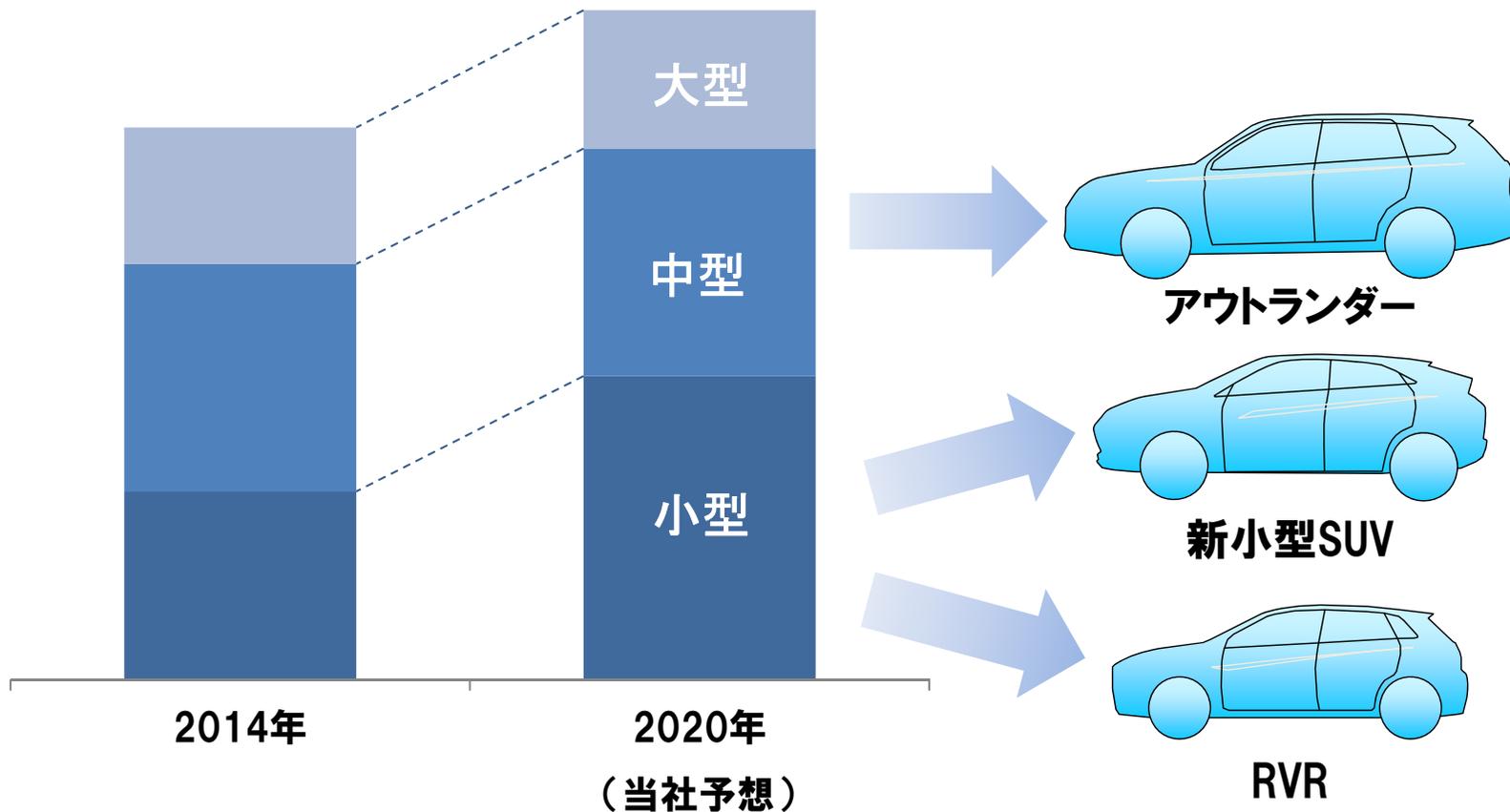
電動車両の需要予測



当社の取り組み

- ◆ 市場の変化を見据え、中型から小型のSUVラインアップを充実
- ◆ これら全てに電動化技術を装備

SUVクラス別需要予測



■ 2015年度 第2四半期実績

前年同期に対し増収・減益 上期計画を達成

- 販売台数(小売)：前年同期並みの521千台
- 販売台数(卸売)：前年同期比 4%減少の 603千台
- 売上高：前年同期比 3%増収の 10,698億円
- 営業利益：前年同期比 7%減益の 584億円
- 経常利益：前年同期比 20%減益の 585億円
- 当期利益[※]：前年同期比 14%減益の 521億円

■ 2015年度通期見通し

売上・利益ともに期初公表計画から変更なし

- 販売台数(小売)：前年比 3%減少の1,053千台
- 販売台数(卸売)：前年比 3%減少の1,251千台
- 売上高：前年比 5%増収の 22,800億円
- 営業利益：前年比 8%減益の 1,250億円
- 経常利益：前年比 14%減益の 1,300億円
- 当期利益[※]：前年比 15%減益の 1,000億円

※親会社株主に帰属する当期純利益

Appendix



「バハ・ポルタレグレ500」参戦車 新型『アウトランダー-PHEV』

2015年度 業績サマリー 【四半期推移】

(単位: 億円、千台)

	FY15 1Q (‘15/4-6)	FY15 2Q (‘15/7-9)	FY15 2Q累計 (‘15/4-’15/9)
売上高	5,005	5,693	10,698
営業利益	186	398	584
経常利益	241	344	585
当期利益	240	281	521
販売台数(小売)	262	259	521
販売台数(卸売)	291	312	603

売上レート(円)

米ドル	121	122	122
ユーロ	133	136	135
豪ドル	94	90	92
タイバーツ	3.68	3.49	3.58

(単位：億円)

	FY14 2Q ('14/4-'14/9) 実績	FY15 2Q ('15/4-'15/9) 実績	増減
売上高	10,351	10,698	+ 347
- 日本	2,127	1,839	- 288
- 北米	1,170	1,794	+ 624
- 欧州	2,773	2,476	- 297
- アジア	1,983	1,920	- 63
- その他	2,298	2,669	+ 371
営業利益	627	584	- 43
- 日本	- 20	- 36	- 16
- 北米	- 15	59	+ 74
- 欧州	236	95	- 141
- アジア	233	291	+ 58
- その他	193	175	- 18

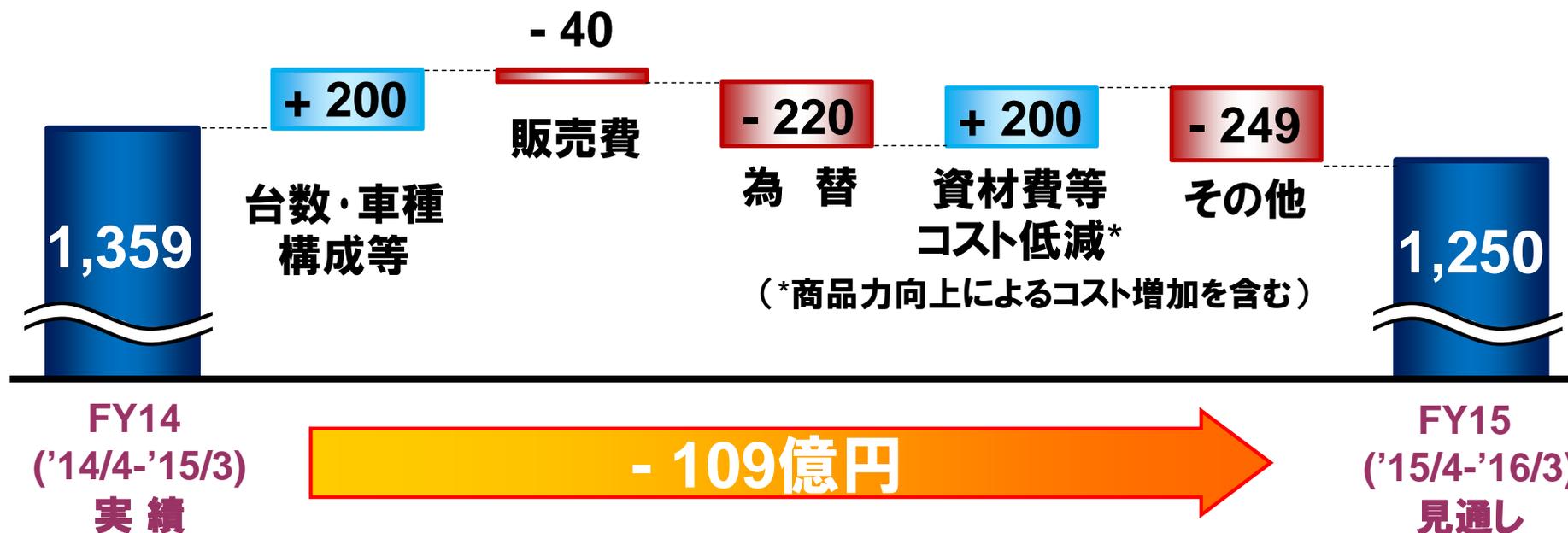
2015年度 営業利益見通し増減分析【前年度対比】

(単位：億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	- 5
北米	+ 105
欧州	+ 110
アジア	- 30
その他	+ 20

主要通貨別内訳			
	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY14	FY15	
米ドル	109	119	+ 210
ユーロ	139	133	- 80
豪ドル	96	86	- 150
タイバーツ	3.38	3.47	- 30
英ポンド	176	182	+ 30
ロシアルーブル	2.71	1.98	- 90

その他の主な内訳	
研究開発費	- 74
間接員労務費	- 55
市場措置費用 他	- 120



2015年度 地域別業績見通し【前年度対比】

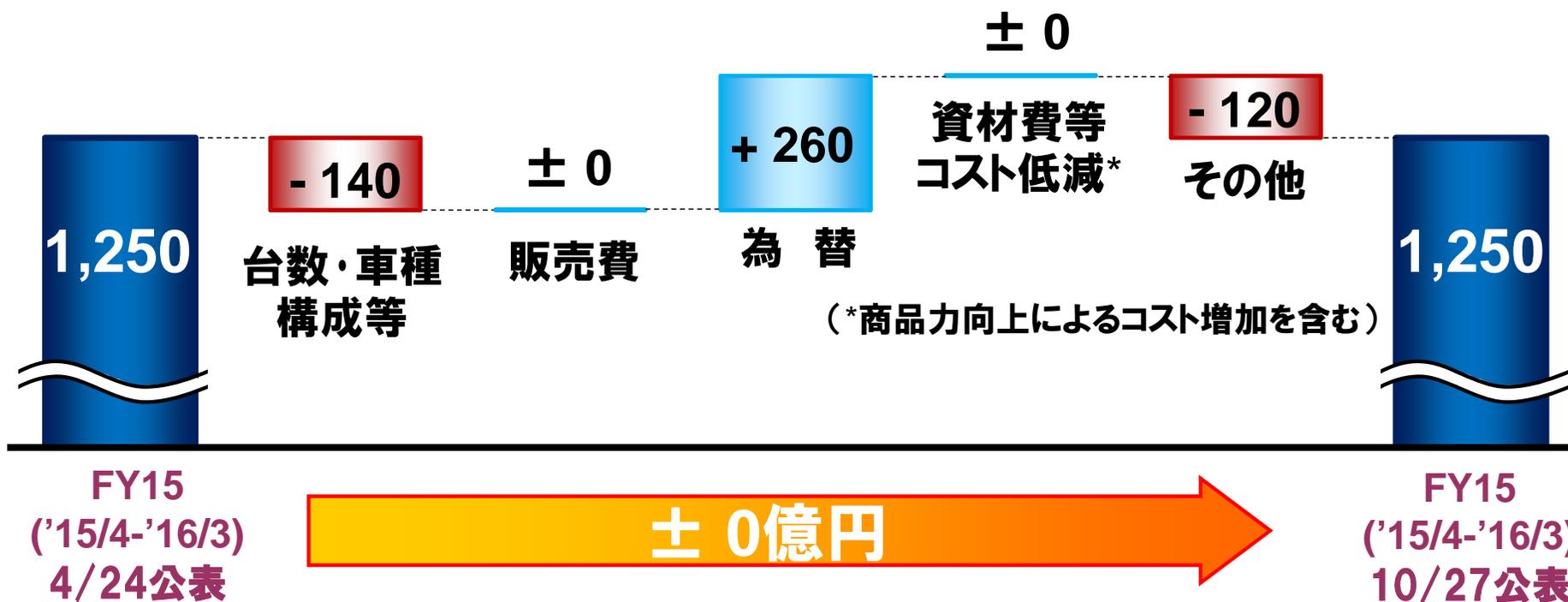
(単位: 億円)

	FY14 実績	FY15 見通し	増減
売上高	21,807	22,800	+993
- 日本	4,453	4,200	- 253
- 北米	2,758	3,400	+642
- 欧州	5,144	5,000	- 144
- アジア	4,245	4,800	+555
- その他	5,207	5,400	+193
営業利益	1,359	1,250	- 109
- 日本	20	0	- 20
- 北米	5	120	+115
- 欧州	391	160	- 231
- アジア	566	690	+124
- その他	377	280	- 97

2015年度 営業利益見通し増減分析【4/24公表値対比】

台数・車種構成等 地域別内訳		主要通貨別内訳			その他の主な内訳	
			売上レート(円)		影響額 (億円)	
			4/24	10/27		
日本	± 0					
北米	+ 40	米ドル	117	119	+ 40	子会社経費削減 + 20
欧州	- 90	ユーロ	127	133	+ 70	市場措置費用 他 - 140
アジア	- 10	豪ドル	90	86	- 70	
その他	- 80	タイバーツ	3.74	3.47	+ 220	
		英ポンド	174	182	+ 40	
		ロシアルーブル	2.10	1.98	- 10	

(単位：億円)



設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	FY14 2Q ('14/4-'14/9) 実績	FY15 2Q ('15/4-'15/9) 実績	FY15 ('15/4-'16/3) 見通し
設備投資 (前年同期比)	228 (- 30%)	354 (+ 55%)	1,050 (+54%)
減価償却費 (前年同期比)	252 (- 3%)	258 (+2%)	600 (+13%)
研究開発費 (前年同期比)	344 (+9%)	385 (+12%)	820 (+10%)

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS